

令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査等の結果
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

1 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発生件数〈表(1)〉

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発生件数 975 件
【前年度(936件)より39件増加】

(2) 学校種別の発生件数〈表(2)〉

① 公立小学校

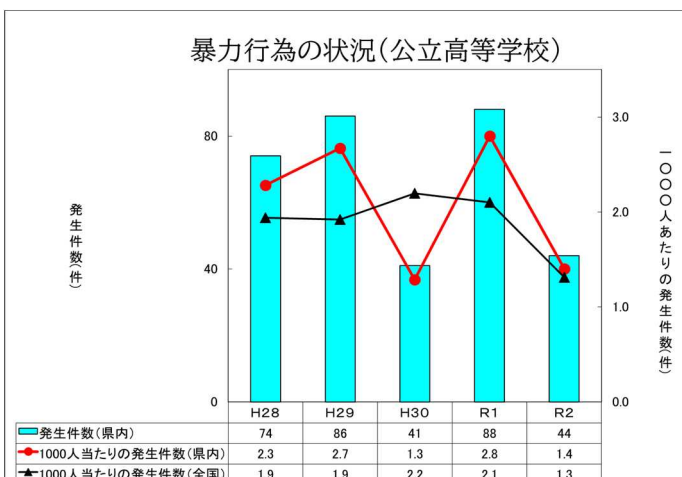
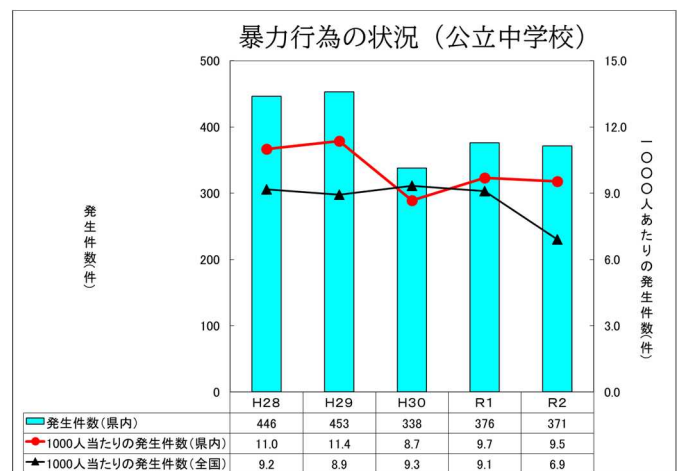
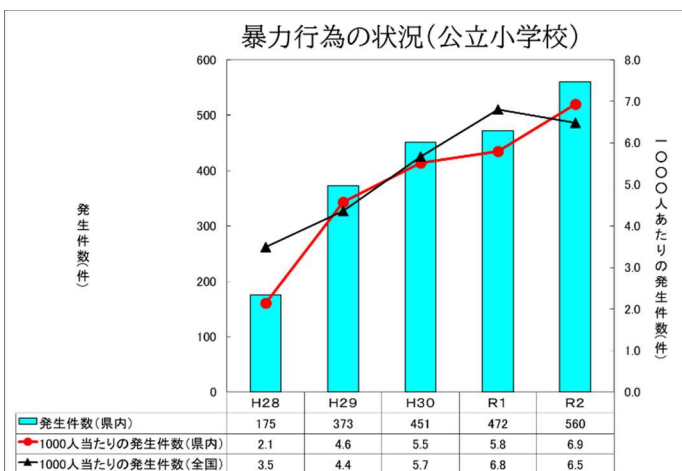
・総発生件数は 560 件【前年度(472件)より88件増加】

② 公立中学校

・総発生件数は 371 件【前年度(376件)より5件減少】

③ 県立高等学校

・総発生件数は 44 件【前年度(88件)より44件減少】



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」 186件【前年度（144件）より42件増加】
- ・「生徒間暴力」 297件【前年度（262件）より35件増加】
- ・「対人暴力」 2件【前年度（0件）より2件増加】
- ・「器物損壊」 75件【前年度（66件）より9件増加】

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」 164件【前年度（84件）より80件増加】
- ・「生徒間暴力」 159件【前年度（195件）より36件減少】
- ・「対人暴力」 8件【前年度（9件）より1件減少】
- ・「器物損壊」 40件【前年度（88件）より48件減少】

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」 3件【前年度（8件）より5件減少】
- ・「生徒間暴力」 27件【前年度（67件）より40件減少】
- ・「対人暴力」 1件【前年度（4件）より3件減少】
- ・「器物損壊」 13件【前年度（9件）より4件増加】

※ 県内における具体的事例

○ 対教師暴力

- ・他の児童が嫌がる行為について制止した教員に対し、暴力をふるった。〈小学校〉
- ・授業妨害やエスケープの指導に対して腹を立て、教師に暴力をふるった。〈中学校〉

○ 生徒間暴力

- ・遊びやふざけ合いの中の些細な言動に腹を立て突如暴力をふるった。〈小学校〉
- ・ふざけ合いから、エスカレートして暴力行為に至った。〈中学校〉
- ・なれなれしく話しかけられたことに腹を立て、つかみ合いのけんかになった。
〈高等学校〉

○ 対人暴力

- ・近くを通った通行人と口論になり、暴力行為をはたらいた。〈小学校〉
- ・学校の近くを通行していた人から注意を受け、腹を立てて暴力をふるった。
〈中学校〉

○ 器物損壊

- ・感情を抑えきれずに、窓ガラスを割った。〈小学校〉
- ・教員から指導されたことや自分の思い通りにならないことに対して、ドアを蹴り壊したり、物を投げて壊したりした。〈中学校〉
- ・言葉での感情表現ができず、物に当たった。〈高等学校〉

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校はいじめを認知した学校の割合は 95.1%

① 公立小学校

・ 認知学校数 216 校 (98.2%) 【前年度 214 校 96.4%】

② 公立中学校

・ 認知学校数 97 校 (99.0%) 【前年度 99 校 99.0%】

③ 県立高等学校

・ 認知学校数 46 校 (90.2%) 【前年度 51 校 100%】

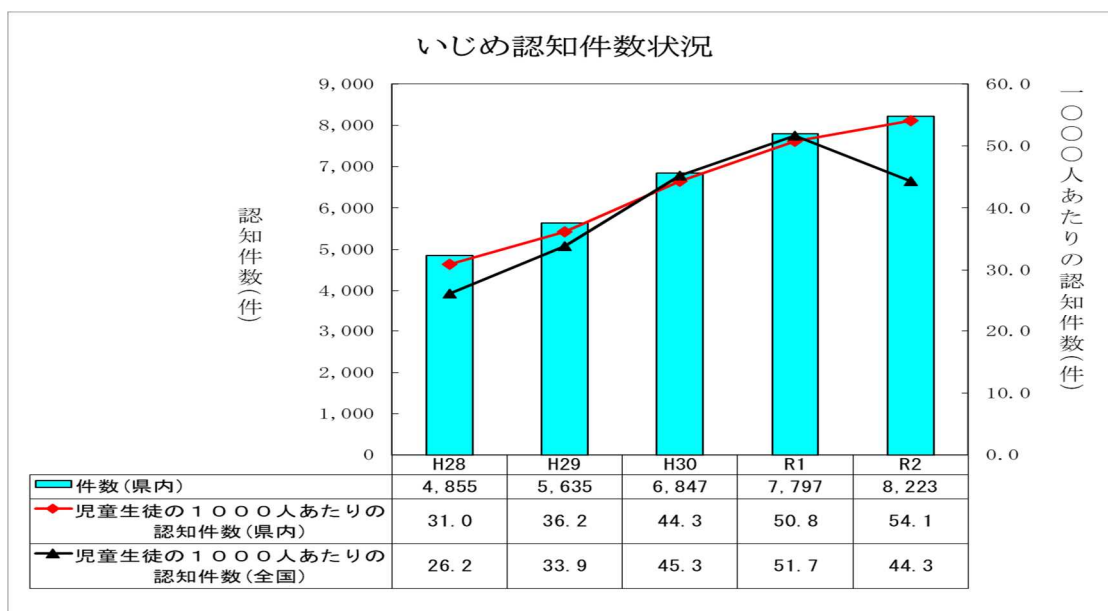
④ 県立特別支援学校

・ 認知学校数 6 校 (40.0%) 【前年度 11 校 73.3%】

(2) 県内公立学校いじめの認知件数〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校はいじめの総認知件数 8,223 件

【前年度 (7,797 件) より 426 件増加】



(3) 校種別いじめの認知件数〈表(5)〉

① 公立小学校

・ 認知件数 6,153 件 【前年度 (5,561 件) より 592 件増加】

② 公立中学校

・ 認知件数 1,875 件 【前年度 (1,988 件) より 113 件減少】

③ 県立高等学校

・ 認知件数 177 件 【前年度 (220 件) より 43 件減少】

④ 県立特別支援学校

・ 認知件数 18 件 【前年度 (28 件) より 10 件減少】

(4) いじめの態様〈表(6)〉

ア 小学校・中学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

イ 高等学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

ウ 特別支援学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② ひどくぶつかられたり叩かれたり、蹴られたりする。
- ③ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ④ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

《小学校》

- ・悪口や脅し文句、嫌な事や恥ずかしいことをされた。
- ・かっとなった相手から、たたかれたり蹴られたりした。
- ・SNS上に画像を掲載された。

《中学校》

- ・自分のことを馬鹿にするような絵を黒板に書かれた。
- ・遊んでいる時に、背中に乗られ怪我をした。
- ・SNS上で、言葉足らずであったり軽く考えた発言から嫌な思いをした。

《高等学校》

- ・部活内で日常的にからかわれていた。
- ・本人の許可なくSNS上に画像を掲載された。

《特別支援学校》

- ・私物が勝手に、別の場所へ移動させられていた。
- ・級友から嫌なことを言われた。

3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況

(長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」の5種類)

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数(小学校)

- ① 公立小学校における長期欠席〈表(7)(8)〉
年間30日以上長期欠席者数 1,595人【前年度(1,286人)より309人増加】
- ② 長期欠席者のうち不登校児童数 851人【前年度(734人)より117人増加】
不登校児童の在籍率 1.05%【前年度(0.90%)より0.15ポイント増加】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(中学校)

- ① 公立中学校における長期欠席〈表(9)(10)〉
年間30日以上長期欠席者数 2,052人【前年度(1,886人)より166人増加】

- ② 長期欠席者のうち不登校生徒数 1,358人【前年度(1,335人)より23人増加】
不登校生徒の在籍率 3.49%【前年度(3.43%)より0.06ポイント増加】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(高等学校)

- ① 県立高等学校における長期欠席 **〈表(11)(12)〉**

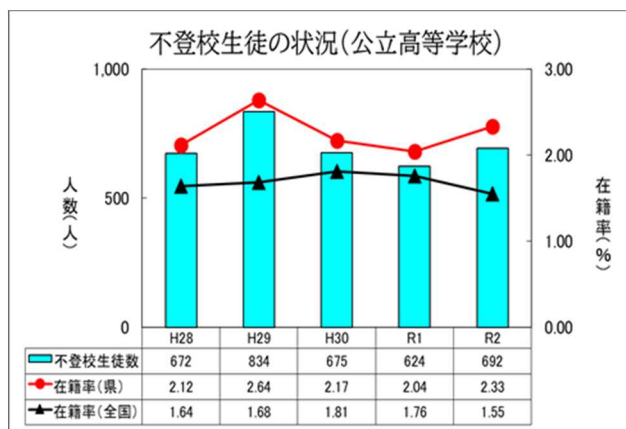
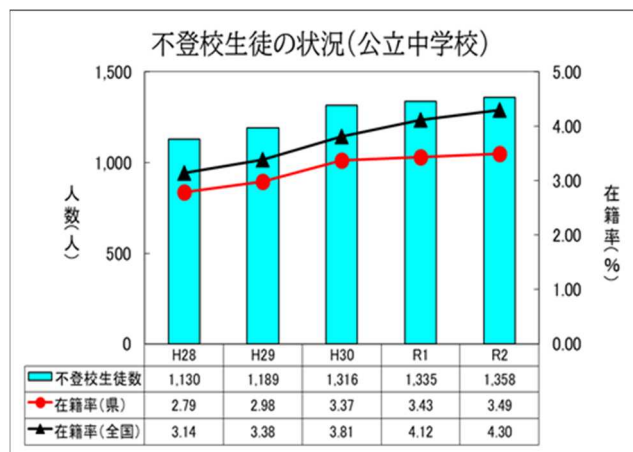
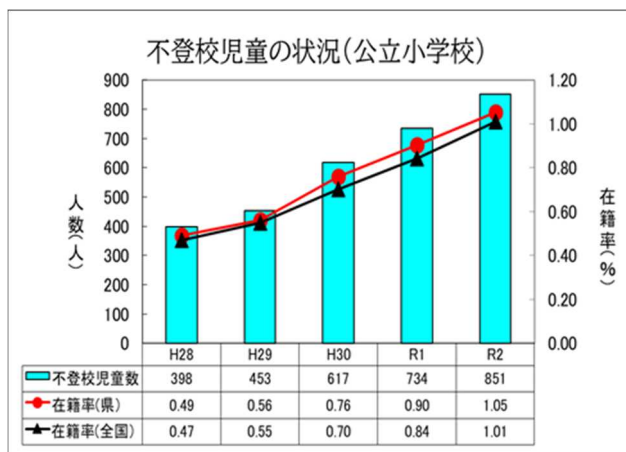
年間30日以上長期欠席者数 887人【前年度(843人)より44人増加】

- ② 長期欠席者のうち不登校生徒数 692人【前年度(624人)より68人増加】

不登校生徒の在籍率 2.33%【前年度(2.04%)より0.29ポイント増加】

(全日制の不登校生徒数 558人【前年度(444人)より114人増加】)

(定時制の不登校生徒数 134人【前年度(180人)より46人減少】)



(4) 不登校の要因

- ア 公立小学校における不登校の要因 **〈表(13)〉**

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が443人(52.1%)、「親子の関わり方」が131人(15.4%)を占める。

- イ 公立中学校における不登校の要因 **〈表(14)〉**

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が638人(47.0%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が217人(16.0%)を占める。

- ウ 県立高等学校(全日制)における不登校の要因 **〈表(15)〉**

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が209人(37.5%)、「学業の不振」が80人(14.3%)を占める。

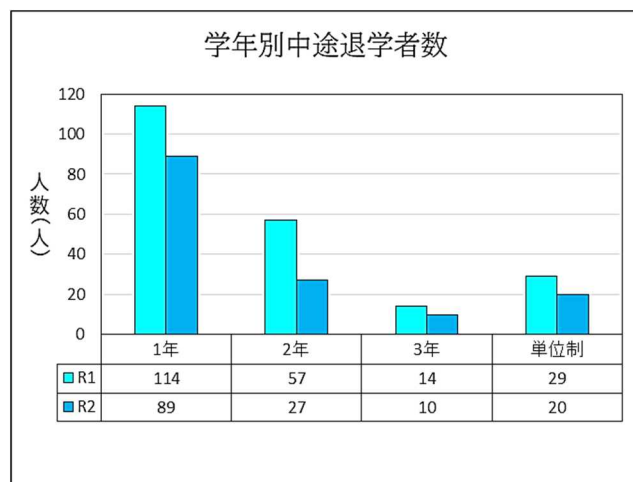
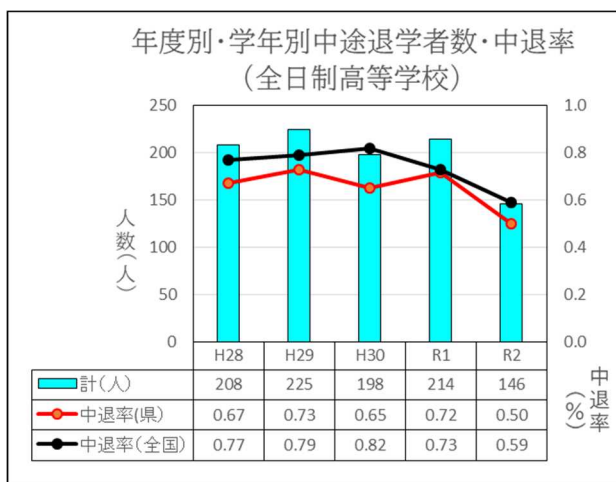
エ 県立高等学校（定時制）における不登校の要因〈表（16）〉

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が61人（45.5%）、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が38人（28.4%）を占める。

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

（1）年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表（17）〉

- ① 中途退学者数 146人【前年度（214人）より68人減少】
- ② 中途退学率 0.50%【前年度（0.72%）より0.22ポイント減少】
- ③ 1年生の中途退学者数 89人【前年度（114人）より25人減少】
- ④ 2年生の中途退学者数 27人【前年度（57人）より30人減少】
- ⑤ 3年生の中途退学者数 10人【前年度（14人）より4人減少】
- ⑥ 単位制の中途退学者数 20人【前年度（29人）より9人減少】



（2）学科別中途退学者数・中途退学率〈表（18）〉

- ① 普通科の中途退学者数 91人【令和元年度（138人）より47人減少】
普通科の中途退学率 0.46%【令和元年度（0.67%）より0.21ポイント減少】
- ② 専門学科の中途退学者数 36人【令和元年度（48人）より12人減少】
専門学科の中途退学率 0.65%【令和元年度（0.84%）より0.19ポイント減少】
- ③ 総合学科の中途退学者数 19人【令和元年度（28人）より9人減少】
総合学科の中途退学率 0.53%【令和元年度（0.77%）より0.24ポイント減少】

（3）学年別理由別中途退学者数〈表（19）〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適応」
65人（44.5%）【令和元年度（97人）より32人減少】
- ・次に多い理由「進路変更」
54人（37.0%）【令和元年度（80人）より26人減少】